

すみれ共同作業所 ニュース

第81号
2019年7月20日

- 社会福祉法人
大阪福祉事業財団
すみれ共同作業所
所長 松村 秀明
- 〒五三六〇〇〇
大阪府城東区古市一丁目三八
電話(〇六)六九三四一四六〇七
- 事業内容**
- ◆生活介護事業
なかまの働く店
「フレンドワーク」
「うえるカフェ」
 - ◆共同生活援助事業
グループホーム
「かえでの家」
「わくわくホーム」
「ぼぶら」「いぶぎ」「もえぎ」
 - ◆日中一時支援事業
 - ◆居宅介護・重度訪問介護事業
 - ◆移動支援事業
 - ◆指定特定相談支援事業

今年も5月6日より全国各地から広島・長崎へ向け、原水爆禁止国民平和大行進が始まりました。大阪では6月30日から7日間タスキを繋ぎ、



なくそう核兵器! 生かそう憲法9条! 核兵器のない世界を目指して!!

「歩く」という誰もが参加できる平和運動

原水爆禁止運動の出発点となったのはビキニ事件でした。広島に落とされた原爆の1000倍の

威力により出た「死の灰」で、第五福竜丸をはじめとする水爆実験の被害が広く知られ、全国各地で自発的に沸き起こった平和集会や市民大会など核兵器廃絶への運動が高まる中、1958年6月被爆地広島市の平和公園から東京に向け、西本あつしさんが一人で歩

きはじめたことから始まりました。「歩く」という誰もが参加できる行動で原水爆禁止の願いを示す平和行進は、市民の共感をひろげ100万人の大行進となりました。それ以来61年間、雨の日も風の日も、夏の暑さの中も休まず続けられるこの行動は、世界にも類をみません。いまでは全都道府県の8割をこえる自治体を通り、毎年約10万人が参加しています。海外からも共感を呼び、各国から参加する国際青年リレー行進者のみなさんが力強いメッセージを寄せ、さらに呼びかけています。



「私たちの歩くりズムと足音で、夢のメロディを奏でましょう。核のない未来に向かって行進しましょう。歩き続けましょう。」と。(高島)

季香

6月26日、近畿では気象庁が統計を開始して以降、最も遅い梅雨入りとなりました。雨がずっと憂鬱になることもありませんが、今年「梅雨入りまだかな…」と妙に待ち遠しくなる自分もいました。最近、記録的な〇〇、災害級の〇〇、異常気象という気象情報をよく聞くようになりました。異常気象が「異常」気象ではなくなっていると感じます。大阪でも昨年は大きな地震や台風で被害を受けました。今までどこか他人事だったと思います。それからは気持ちに変化があったが、またどこか「まあ大丈夫だろう」という思いも出てきていたり…。今でもいろんな報道を見ながら、「今まではこうだった」という当たり前に囚われず、最新の情報を得て、任んでいる場所のこと知っておく、それだけでなくいざとなれば避難するなど行動する勇氣も必要だと改めて思います。それでも道を歩けば季節の花が咲き、もやっ…とした空気が景色を、ハツときれいに彩ってくれます。季節の変化の魅力も感じながら過ごしていきたいです。

郊外レクレーションBグループ 丹後 魚っ知館に行ってきました!

郊外レクレーションBグループは日浦さん、三浦さん、西山さん、三林さん、富永さん、鎌田さん、渡辺さん、大林さん、原田さん、河崎さん、藤川さん、島村さん、竹田さんの13名の



などみなさん、おいしそうに食べられていました。食後は日本海をながめながら、魚っ知館をめざしました。到着後、さっそく館内を見学しました。オレンジや赤などいろいろな色

の魚が泳いでいたり、ペンギンがいたり、みなさんねっしんに見ていました。ドクターフィッシュの体験コーナーでは水に手を入れると、ドクターフィッシュが集まってくる、手をきれいにしてくれました。でもくすぐったいので、みなさんおっかなびっくり手を入れていました。

参加で、日本海は丹後の魚っ知館と言う水族園に行つて来ました。魚っ知館に行く前に、洋食屋さんでお昼ごはんを食べました。ハンバーグにエビフライ

ふろに入ったりと、のんびりくつろぎました。2日目は宝塚北サーブエリアを散策しました。お昼ごはんは和食さとおなかいっぱい食べて、みなさんまんぞく



そうにされていきました。きれいな海を見て、魚にふれて、おなかいっぱい食べて、たのしい旅になりました。
(中井 靖彦)

とれました〜!! 新鮮な野菜! たべるぞー!!



今年の「ゆつたりグループ」の取り組みのつは「野菜を食べて食べよう!」です。自分たちで育てた野菜を給食で食べようと計画しました。

平安時代の頃に栽培が始まったという夏野菜の代表選手「きゅうり」。なんと、エジプトでは紀元前から食べられていたという夏バテ防止の野菜「オクラ」。全体的に栄養価が極めて高く「野菜の王様」の異名を持つ「モロヘイヤ」。日本へは縄文時代後期頃、イネよりも早く伝わったと考えられている「里芋」。この4種類の野菜を植えました。まず、私たちが喜ばせてくれたのは「きゅうり」でした。朝、大きな葉っぱの陰にりっぱな実がなっていました。山崎さんが喜びの表情いっぱいキュウリを採り、調理場へ持って行きました。そして昼食のサラダにはちゃんとキュウリが使われていました。「これ朝採ったキュウリやで〜」。このサラダ、確かにおいしかったです。水やりをしながら、次の収穫の期待に胸が高まる今日この頃です。

郊外レクレーションCグループ

どうぶついっぱい!! 実験いっぱい!!

6月25日(火)・26日(水)良いお天
気の中、ワクワク気分で出発!!

1日目は「神戸どうぶつ王国」
に行きました。事前にホーム
ページでどんな動物がいるの
か、触ったり、餌をあげたりす
ることが出来る事を確認して

いたので、「猫に触りた
い」〇〇に餌あげる

ねん」など、楽しみにしていま
した。

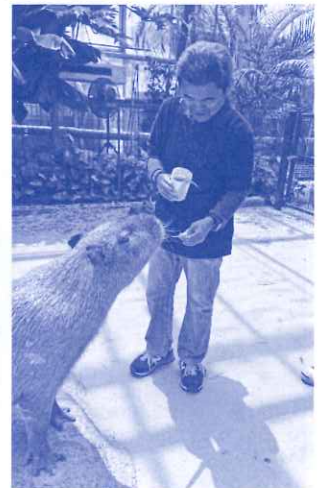
大きな陸がめやカピパラが足
元をウロウロ。いろいろな鳥
たちも自由に飛んだり歩いた
りしていました。お

撫でたり、怖々餌を
食べさせてあげた
り、と貴重な経験を
しました。ドッグシ
ョーでは、牧羊犬が
羊を追ったり移動
させたりするお仕
事や、フリスビー犬
が上手にフリスビ
ーを取るの
を観て拍手
喝采でした。

2日目は「神
戸水の科学博
物館」へ。ここ
は水に関する



(作田まゆみ)



展示や3Dシアター、イベン
トなどがあり、まずは「水の化
学実験室」で博士による実験
を見学。

手品のように、ビンの中の風
船が膨らんだり縮んだり、水
の色が茶色から透明に変わっ
たりするのを見て「わぁー」と
びっくりでした。

天候に恵まれ、美味しいご
飯もたくさん頂きいろんな動
物たち触れ合えた楽しい2日
間でした。

食中毒に注意しよう!!

食中毒は、おみせなどでおこ
っているイメージですが、かてい
での食中毒もたくさん起こつ
ています。ただのかぜや寝冷え
とまちがわれて、重症になるこ
とがあります。

食中毒予防は

- つけない!! あらう・わける
- ふやさない!! ひやして保存
- やっつける!! 火をとおす

が大切です。

特にしっかり手洗いすることが
重要です。

また、買い物から食べるまで
の間で6ポイントに注意してつ
らい食中毒を予防しましょう。

- 1 あたらしいもの買い、よりみ
ちしないで早くかえりましょう
- 2 帰ったらすぐに冷蔵庫や冷
凍庫に入れましょう
- 3 手を洗い、台所はせいけつに、
調理器具は使用前使用後に
あらいましょう
- 4 食品はしっかり火をととし
ましょう
- 5 食卓につく前には手を洗い、
調理したものはいつまでもおか

ないで食べましょう
6 消費期限に注意して、残つ
たものはおもいきつてすて
ましょう

平成30年6月30日に食
品衛生法の改正があり、
HACCP(ハサップ)
に沿った衛生管理をし
なければいけなくなり
ました。

※ハサップ(宇宙食から
生まれた食品衛生管理

作業所でもしっかり衛生管理
しながら、給食づくりをす
めていきます。

さあ、みんなで手をあらおう!!



皆さんけん玉で遊んだ思い出お持ちですか？
「けん玉」は、16世紀頃のフランスにそのルーツをたどることが出来ます。江戸時代に日本に紹介され、大正時代に



ここにもそこにも「ドヤ顔」が!

～自治会全体取り組み「けん玉大会」の様子～

うに力を入れます。簡単なよう、うでこれがなかなか難しい。なかまの皆さんも苦勞しているようです。「6月29日にけん玉大会をします」と案内を出してから、練習する風景がち

らほら見られました。第3作業室の田原さんも妹さんのけん玉を借りて毎日一生懸命練習しました。その様子を見守り励ましながら本番を迎えました。さて本番当日、なかまの皆さんがそれぞれ腕前を披露してくれました。「練習ではうまくいったのになあ」と何度か繰り返し成功。「ほら!」とこちらを向いた表情は「ど

味。ゆつくり玉を振りますが、力が入ってうまくいきませんが、焦りも見えますが諦めずに挑戦します。集中して「よっ!」と振り上げた玉が!見事お皿にのりました。その瞬間の本



当にうれしそうな表情。練習の甲斐がありました。他でも「出来たあ」という声が上ががり、楽しそうにしている様子を見てこの企画をして良かったなと思いました。

今の形に落ち着きました。今回は、その「けん玉」となにかの皆さんが真剣に取り組んだ様子のお話です。慎重に慎重に「よっ」と糸を引き上げて玉がお皿にのるよ

や!」と得意顔いっぱいです。次は田原さんの番です。ちょっと緊張気



作業所から 利用時間延長の お知らせ



梅雨の季節になりました。天気予報は傘のマークばかりですね。九州地方の大雨による災害が心配ですが、他人事と思わず天気予報や災害情報には注意しておきたいものです。

さて、これまで毎月第一と第三の土曜日は、職員の方の会議のために利用者のみならずには昼食後は降所していただいています。

そこを今年9月からは、平日と同じく午後3時30分まで利用してもらえようにします。利用者ご本人の思いと家族のご都合にあわせてご利用下さい。

少しでも利用しやすい作業所をめざして今後も努力して行きます。



● 大阪福祉事業財団後援会 ●

お申し込みは

年会費/個人 3,000円
団体 10,000円
郵便振込/
大阪 00900-3-14013

すみれ共同作業所 又は
大阪福祉事業財団
後援会事務局 まで
☎06-6931-2983

「福祉のひろば」のご案内

ご購入を希望される方は、すみれ共同作業所までご連絡をお願いいたします。

五〇〇円(税別)

